



観点別 内容と特色

観点	内容と特色
1	目標達成への配慮

教育基本法や学校教育法の理念を踏まえて、「生きる力」をより具体化した編集上の配慮がされているか。

- 1 何を理解しているか、何ができるか**（生きて働く「知識・技能」の習得）
- ・言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力、互いの立場や考えを尊重して伝え合う能力を育成し、我が国の言語文化に触れて感性や情緒を育成するよう配慮している。
 - ・国語科で培った言葉の力を他教科や社会生活で生かす態度と能力を育成するよう配慮している。
 - ・全ての学習活動において、言葉に着目し、語彙を広げ、語感を磨くための工夫を設けている。
 - ・情報と情報との関係の捉え方や、情報の整理のしかた、学校図書館や情報機器の活用方法などについて学ぶことで、情報活用能力の基礎となる知識・技能を育成できるよう工夫している。
 - ・読書の価値を理解し、読書を通してものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしようとする態度や、自分の読書生活をより豊かなものにしていこうとする姿勢を育成するよう工夫している。

- 2 理解していること・できることをどう使うか**
(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)
- ・人間関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高め、思考力・判断力・表現力を養う学習を通して、道徳的心情や道徳的判断力が育成されるよう配慮している。
 - ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習活動において、課題解決を行う過程で、基盤的な言語能力や情報活用能力を育成するよう配慮している。
 - ・社会の変化に応じて主体的かつ柔軟に行動するために、情報を正確に把握し選別する思考力・判断力、相手や目的、状況に応じて適切に発信する表現力を、情報活用能力として育成している。
 - ・言語活動の素材となる文章や話題・題材は、生徒の知的好奇心を喚起し、思考・判断・表現への意欲を高めるもの、また協働により新たな価値やよりよい解決策を生み出せるものを厳選している。

- 3 どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか**
(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)
- ・相手や目的、意図、場面に応じ、互いの立場や考えを尊重して、問題解決に向けて協働する活動を通して、コミュニケーション能力を育成するよう教材化を工夫している。
 - ・自ら課題を設定し、他者と合意形成したり討論したりする活動を通して、互いに考えを深め、よりよい問題解決を図ろうとする態度を育成するよう配慮している。
 - ・伝統的な言語文化である古典や、近・現代の優れた言語作品を積極的に取り上げ、学習活動を通して我が国の言語文化を享受し、新たな創造へとつないでいく態度を育成するよう配慮している。
 - ・学習活動や読み物を通して、人と社会の多様性を認め、尊重する態度を育成するよう配慮している。

- 4 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善)の実現を旨とした配慮**
- ・生徒が自ら課題を発見し、解決を旨として主体的に取り組めるよう、教材の構成を工夫している。学習活動全体を見通し、自らの学習を調整しながら、個→集団→個で対話的に理解や考えを深め、さらに学習したことを日常生活・社会生活や他教科の学習に生かしていける構成になっている。

- 5 カリキュラム・マネジメントを意識した教材化**
- ・学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力や、現代的な諸課題に対して求められる資質・能力を育成するために、教科等横断的な学習を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう、カリキュラム・マネジメントにつながる教材化・教材配列を工夫している。

教科の目標が達成できるよう配慮されているか。

- ・言語能力の育成を旨とする国語科の特質を明確にし、生徒が言葉による見方・考え方を働かせ、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成できるよう教材化を工夫している。
- ・社会生活に必要な国語の特質について理解し、さまざまな場面で主体的に活用できる、生きて働く「知識及び技能」として習得できるよう、教材化や教材配列を工夫している。
- ・人と人との関わりの中で思いや考えを伝え合う力や、論理的に思考し豊かに想像する力を高めることを通して、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」を育成できるよう、教材化や教材配列を工夫している。
- ・言葉の価値を実感するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化や国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養えるよう、教材化や教材配列を工夫している。
- ・学習活動を通して、人間や社会、生き方について考えられるよう、価値ある話題・題材を選定し、人間形成と言語能力との調和的育成を図れるよう配慮している。

[1] 学習指導要領への対応

学習指導要領の基準性に鑑み、
内容・系統は
適切に構成されているか。

- ・学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、教材を選定・作成している。
- ・各教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容が確実に定着するよう**学年内・学年間を見通して系統的・段階的に位置づけ**、**習得と活用を繰り返しながら螺旋的に**高まるよう工夫している。
- ・学習指導要領に示された言語活動例が、3学年それぞれの段階でもれなく扱えるようにし、育成を日ごす資質・能力が明確になるよう教材を作成・配置している。

学習指導要領の方向性に
対応した工夫、配慮は
どのようになされているか。

- 1 基礎的・基本的な「知識及び技能」を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な「思考力、判断力、表現力等」を育む**
- ・言語、言語様式、情報活用などに関する基礎的・基本的知識や、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」や情報活用に関する基礎的・基本的技能を着実に習得し、それらを繰り返し活用する中で定着させていけるよう、学習活動及び学習内容を構成・配列している。
 - ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の「**目標**」には、「**知識及び技能**」及び「**思考力、判断力、表現力等**」の資質・能力を明確に示した。また、その学習を通して身につける汎用的な資質・能力を「**学習の窓**」に示し、**図解**したり**学習用語**を取り立てたりして、わかりやすく解説している。
 - ・「思考力、判断力、表現力等」の各領域において、**学習過程**全体を示したうえで、その学習で焦点化すべき過程を明確に示した。学習活動全体を見通し、**自己調整**しながら学習することを通して、自分の考えを形成し、それを他者と共有できるよう配慮した。
 - ・学習したことを社会生活や他教科の学習に生かしていける教材構成を工夫した。「読むこと」の「学習」(手びき)には、身につけた資質・能力を言語化したり他の場面で活用(転移)したりすることで自覚するための課題、「**振り返る**」を設けた。また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の活動には、領域を超えて身につけた資質・能力を当該学習に「**生かす**」場(冒頭)と、習得した資質・能力を日常生活や学校生活、将来に「**つなぐ**」ための具体例(末尾)を位置づけた。(1年 p.28, 34, 54 など)
 - ・資質・能力を焦点化して習得し、その後の学習に有機的に活用していくために「話すこと・聞くこと」「書くこと」の**小教材**を位置づけた。
 - ・各学年の最後に、1年間で習得した資質・能力を生かして各領域の問題に取り組む「**学習を振り返ろう**」を設けた。身につけた力を自覚し、他教科や日常生活に主体的に生かしていけるよう配慮した。
 - ・「思考力、判断力、表現力等」の全領域において、学習指導要領に示された言語活動例を網羅した。言語活動は教材名や教材冒頭に明示し、言語活動を通して資質・能力が身につくように教材化を工夫した。

2 情報の扱い方を習得するとともに、論理的に思考し、判断し、表現する資質・能力を養う

- ・学習指導要領に新設された「情報の扱い方に関する事項」に特化し、情報と情報との関係を扱う「**思考のレッスン**」と情報整理の方法を示した「**情報整理のレッスン**」の系列を設けた。3領域の学習とも密接に関連させ、繰り返し活用することで確実に力がつくよう教材配列を工夫した。
- ・当該学年で学習した「情報の扱い方」を、「思考力、判断力、表現力等」の各領域や他教科の学習、日常生活でも主体的に活用できるよう、巻頭に「**思考の地図**」を設けた。
- ・情報を適切に読み取り、その信頼性を見極める力を養うとともに、習得した知識・技能を社会生活に活用できるよう、各学年に「**情報社会を生きる**」を設けた。図表の読み取りやメディアの特性、情報の信頼性の確かめ方について実践的に学び、身につけられるよう工夫している。

3 豊かな情操と道徳心を養う

- ・人間の姿を多様な角度から描いた文学的文章や、たゆまぬ探究心から研究に取り組んだ過程と成果をまとめた説明的文章など、優れた文章表現や論理構成で深い思索を促す文章を多数掲載している。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習活動においても、生徒を取り巻く状況から、公共の精神や環境の保全などについて考える題材を提出し、健全な精神を育むことができるよう配慮している。

4 伝統的な言語文化を尊重し、国語と郷土を愛する心を育成する

- ・言葉・文字・言語作品の全てに関心がもてるよう、また、古典をはじめとする我が国の伝統的な言語文化を享受し継承していく態度を育成できるよう、価値ある作品・文章を選定し掲載している。
- ・年間4か所に設けた「**季節のしおり**」では、四季にまつわる詩歌や季語を紹介し、豊かな感性とともに育まれた伝統的な日本文化に触れる機会を設けている。(1年 p.31, 2・3年 p.27 など)
- ・我が国の伝統的な言語文化である短歌や俳句、**時や色、季節を表す伝統的な言葉**などを数多く紹介し、日本語そのものの表現に着目し、興味をもつことができるよう工夫している。(1年 p.21, 2・3年 p.13, 各学年後見返しなど)
- ・説明的文章や「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の話題としても、日本文化や国語、郷土に関することを積極的に取り上げている。(1年 p.73, 2年 p.54・184, 3年 p.116 など)

5 個人の価値を尊重し、その能力や創造性を伸ばし、自主・自律の精神を養う

- 一人一人が個性を生かして主体的に学習活動に取り組み、互いに認め合いながら心の豊かさや言葉の豊かさについて考え、気づき、学習することの喜びや達成感を得られるよう配慮している。
- 巻頭に「**学習の見通しをもとう**」(各学年 p.6) を設け、生徒が自ら学習の見通しをもったり、既習事項の確認をしたり、自己評価したりする、「**主体的・対話的で深い学び**」をいざなう構成になっている。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の最初の見開き、及び「読むこと」の「学習」(手びき)では、**学習目標及び学習過程**を一覧できる構成とした。学習全体を見通し、自己調整しながら学習に臨み、身につけた力を**振り返る**までの学習を主体的に推し進めることができるよう配慮した。
- 「読むこと」の「学習」(手びき)は、「**①捉える**」(構造と内容の把握)、「**②読み深める**」(精査・解釈)、「**③考えをもつ**」(考えの形成、共有)の3段階に課題を構造化して示した。学習過程を見通し、主体的に学習に取り組めるよう配慮するとともに、個→集団→個で**対話的**に自分の考えを確立し、根拠を明確にして書いたり話したりできるように工夫している。(1年 p.28・50, 2年 p.24・50, 3年 p.24・48 など)

6 読書に親しみ、生涯にわたって充実した読書生活を送るための基礎を養う

- 教科書での学習を契機に、読書の価値に気づき、読書習慣の確立につながるような工夫を随所に設けた。
- 年間2か所の特設教材「**読書生活を豊かに**」「**読書に親しむ**」では、読み上げや読み比べ、本の探し方を体験的に学ぶことで、日常の読書にいざなう構成になっている。複数の作品を抜粋して採録するなど、教科書で完結せず生徒が確実に本に手を伸ばすよう工夫している。(1年 p.82・190, 2年 p.82・188, 3年 p.80・178)
- 特設教材内の「**本の世界を広げよう**」や「読むこと」教材末尾の「**広がる読書**」では、412冊に上る図書を紹介している。(1年 p.27・45・90・194, 2年 p.23・49・87・191, 3年 p.23・47・88・191 など)
- 学習・情報センターとしての**図書館**の具体的な活用方法を提示し、利用推進に努めている。(1年 p.60 など)

7 社会の変化に対応する能力を伸ばし、社会の形成者たる生徒を育成する

- 一人一人が**持続可能な社会**の担い手として、変化に向き合い、多様性を原動力として新たな価値や解決策を生み出していくために、**現代的な諸課題**を取り上げたり、生徒自らが属す社会である学校や身近な地域から**課題を見つけて考え**たりする活動を積極的に設けた。(1年 p.138, 2年 p.34, 3年 p.52 など)
- 他者と**協働**して**合意形成**を図り、課題を解決していく意識を育てるために、友達と共に**課題を発見**したり**解決**したりする場を積極的に設け、道徳的心情や道徳的判断力の育成を旨とするとともに、社会を形成する一員であることを体験的に自覚できるよう配慮している。(1年 p.146, 2年 p.140, 3年 p.136 など)

[2] 全体構成・分量・教材配列への配慮

全体構成や分量、各領域の教材数の配分・配列は適切か。

- 学習活動を通して「**言葉による見方・考え方**」を育成できるよう、「言葉・表現」「視点・視野」「論理的思考」「価値の創造」「想像力」「言語文化」等、年間8系列のテーマで教材を配列・構成した。
- 教材配列においては、「知識及び技能」及び「思考力、判断力、表現力等」の各領域が特定の時期に偏ることのないよう、**軽重をつけながらバランスよく**配分し配置している。また、生徒の発達段階や学習過程を考慮し、学習系統を段階的かつ系統的に構成している。
- 3学期制・2学期制**のどちらにも対応できるよう、教材数や領域、時数のバランスを工夫している。
- 教材は、「本教材」「小教材」「コラム」「特設教材」で構成し、習得した「知識及び技能」を活用して思考・判断・表現を繰り返す中で、着実に資質・能力を身につけられるように配慮している。
本教材 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域に対応したものがある。各教材で身につける「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を目標として明示し、一体的に学習できるよう配慮している。学習の意図や目的を明確にし、学習活動を具体的に明示することで、主体的・対話的に学びを深めることができるよう工夫している。
小教材 「知識及び技能」や「話すこと・聞くこと」「書くこと」の指導事項を焦点化して扱うコンパクトな学習の場。「情報の扱い方」や、1ページ構成の「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材は、解説にトライアル的要素を加えた構成となっており、習得した知識や技能を前後の学習と結び付けて活用できる。(1年 p.30・120, 2年 p.116・139, 3年 p.26・116 など)
コラム 学習内容に関連した知識事項や、習得した技能の他領域への転移を促すコーナー。文法・言語の教材や古典教材に付随する形で設けている。
特設教材 入門期(「言葉に出会うために」と情報活用(「情報社会を生きる」)、読書活動(「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」)については、特設教材とし、取り立て指導ができるようにした。
- 各学年の巻末には、本編の学習に資するよう、教材に関連した資料をまとめている。学級・学校や個の実情に応じて、補充的にも発展的にも扱えるよう配慮している。(1・2・3年「学習を広げる」)
- 巻末「学習を広げる」の冒頭に、各領域及び「情報の扱い方」の基礎的・基本的方略をまとめた「**文学的(説明的)な文章を読むために**」(「読むこと」)、「**豊かに表現するために**」(「話すこと・聞くこと」「書くこと」)、「**情報と情報との関係**」「**情報整理の方法**」(「情報の扱い方」)を設けた。各教材の「**学習の窓**」や「**学習で用いる言葉**」に示された内容が、領域全体で学習する資質・能力の中で整理して示されている。汎用的な資質・能力の全体像を見渡し、国語だけでなく日常生活や読書でも活用できるように工夫している。

[3] 教材の選定

教材の選定は適切に行われているか。

- **教科書全体を通して** …… 発達段階を考慮するとともに、生徒の学習意欲を喚起し、道徳的心情や道徳的判断力が育成されることを配慮した内容・題材の選定がなされている。
- **入門期** …… 小学校で学習した内容を確認し、中学校への円滑な接続を図れるよう配慮している。学習意欲を向上させるとともに、生徒の学習履歴を見取りやすい教材を選定している。(1年 p.12)
- **「話すこと・聞くこと」「書くこと」** …… 日常生活、学校生活、学習場面など実の場取材し、生徒が必然性をもって活動し、相手や目的を明確に意識できるよう、話題・題材の選定に配慮している。また、生徒自身が学習過程を見通し、自己調整しながら資質・能力を身につけ、習得した力を次の学習や日々の課題解決に主体的に活用していけるような教材構成を工夫している。
- **「読むこと」** …… 生徒の言語環境と発達段階に応じて、言葉や表現の美しさを感じ得る教材、他者への想像力を育てる教材、論理的思考を鍛える教材、社会的認識の広がり、ものの見方・考え方の深まりが得られるような教材など、幅広い分野から題材を求め、教材を精選している。
- **「言葉の特徴や使い方に関する事項」** …… 生徒の言語生活や、言葉に関する問題に材を取り、言葉に対する興味・関心が深まるよう教材化を工夫している。
- **「情報の扱い方に関する事項」** …… 情報をわかりやすく整理したり、情報と情報の関係を捉えて理解したりする力をつけるために、「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」を設けて解説した。また、習得した知識・技能を3領域の学習で活用しながら定着できるよう配列を工夫している。
- **「我が国の言語文化に関する事項」** …… 伝統的な言語文化が現代にも息づき、親しまれていることを実感し、自らが継承していくことを意識できるよう教材化を工夫している。また、生涯にわたる読書習慣を確立するために、生徒の心を動かす質の高い本を選定し紹介している。

他教科や日常生活・社会生活、現代的な諸課題との関連は図られているか。
(カリキュラム・マネジメントやSDGsへの視点)

1 日常生活・社会生活、学習の基盤となる資質・能力(言語能力・情報活用能力)の伸長

- 生活や学習の基盤となる言語能力や情報活用能力を伸長できるよう、学習活動の選定に配慮した。
対話・質問 …… 「聞き上手になろう」(1年 p.116, 2年 p.112, 3年 p.114)
合意形成・討論 …… 「話題や展開を捉えて話し合おう(グループ・ディスカッション)」(1年 p.146), 「立場を尊重して話し合おう(討論)」(2年 p.140), 「合意形成に向けて話し合おう(会議)」(3年 p.136)
スピーチ・提案 …… 「話の構成を工夫しよう(スピーチ)」(1年 p.54), 「魅力的な提案をしよう(プレゼンテーション)」(2年 p.54), 「説得力のある構成を考えよう(パブリック・スピーキング)」(3年 p.52)
社会生活 …… 「情報を整理して書こう(説明)」(1年 p.34), 「項目を立てて書こう(案内文)」(1年 p.118), 「根拠を示して説明しよう(レポート)」(1年 p.138), 「表現を工夫して書こう(手紙・メール)」(2年 p.114)
情報活用能力 …… 「情報社会を生きる」(1・2年 p.60, 3年 p.62), 「『自分で考える時間』をもとう」(2年 p.64)
語彙力 …… 「言葉を集めよう／比べよう／選ばよう」(1・2年 p.80, 3年 p.76), 「語彙を豊かに」(巻末資料)

2 他教科との関連(カリキュラム・マネジメント)

- 他教科との有機的な関連を図り、教科横断的に取り扱えるよう、話題や題材の選定に配慮した。
数学 「情報を読み取ろう(図表の読み取り)」(1年 p.62)
理科 「ダイコンは大きな根?」(1年 p.42), 「『言葉』をもつ鳥, シジュウカラ」(1年 p.126), 「クマゼミ増加の原因を探る」(2年 p.42), 「研究の現場によるこそ」(2年 p.188)
社会 「アイスプラネット」(2年 p.14), 「モアイは語る—地球の未来」(2年 p.124), 「リオの伝説のスピーチ」(3年 p.56), 「報道文を比較して読もう」(3年 p.64), 「故郷」(3年 p.98), 2・3年古典教材
外国語 「翻訳作品を読み比べよう」(2年 p.84), 「リオの伝説のスピーチ」(3年 p.56)
美術 「ちょっと立ち止まって」(1年 p.46), 「言葉の力」(2年 p.74), 「君は『最後の晩餐』を知っているか」(2年 p.170), 「『最後の晩餐』の新しさ」(2年 p.180), 「魅力を効果的に伝えよう」(2年 p.184)
音楽 「朝のリレー」(1年巻頭), 「月夜の浜辺」(2年 p.144), 「羊と鋼の森」(3年 p.84), 「わたしを束ねないで」(3年 p.200) **体育** 「本の中の中学生(駅伝, 競泳)」(1年 p.84・88)
技術・家庭 「メディアを比べよう」(2年 p.60), 「実用的な文章を読もう」(3年 p.62), 「人工知能との未来」(3年 p.124), 「人間と人工知能と創造性」(3年 p.126)
道徳 **【自主・自律, 向上心】** 「考える人になろう」(1年 p.190), 「学びて時に之を習ふ—『論語』から」(3年 p.28) **【友情, 信頼】** 「シンシユン」(1年 p.22), 「あと少し, もう少し」(1年 p.84) **【生命の尊さ・家族愛】** 「西の魔女が死んだ」(1年 p.86), 「大人になれなかった弟たちに……」(1年 p.96), 「盆土産」(2年 p.92), 「字のない葉書」(2年 p.106), 「高瀬舟」(3年 p.246), 「二つの悲しみ」(3年 p.259) **【国際理解】** 「握手」(3年 p.14), 「作られた『物語』を超えて」(3年 p.42), 「挨拶—原爆の写真によせて」(3年 p.94), 「エルサルバドルの少女 ヘスース」(3年 p.178), 「紛争地の看護師」(3年 p.188), 「温かいスープ」(3年 p.196) **【社会参画】** 「多様な方法で情報を集めよう(職業)」(2年 p.34), 「誰かの代わりに」(3年 p.166)
総合 **【キャリア教育】** 「多様な方法で情報を集めよう(職業)」(2年 p.34), 「達人からのひと言」(1年 p.37・57・143・223 など) **【防災】** 「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」(2年 p.63) **【オリ・パラ】** 「ブラインドの向こうに見える光」(1年 p.88), 「報道文を比較して読もう」(3年 p.64)
行事 「項目を立てて書こう(合唱コンクール)」(1年 p.118), 「多様な方法で情報を集めよう(職業体験)」(2年 p.34), 「文章の種類を選んで書こう(修学旅行)」(3年 p.34)

他教科や日常生活・社会生活、
現代的な諸課題との関連は
図られているか。
(カリキュラム・マネジメントや
SDGs への視点)



地域性への配慮は、
適切に行われているか。

3 現代的な諸課題との関連 (SDGs への視点)

・地球市民として持続可能な社会のために行動できる主体を育てるために、SDGs に代表される現代的な諸課題を幅広く取り扱っている (以下はSDGs と関連する主な教材)。

- 1 貧困をなくそう 「リオの伝説のスピーチ (子供の貧困)」「エルサルバドルの少女 ヘスース」
- 2 飢餓をゼロに 「大人になれなかった弟たちに……」
- 3 すべての人に健康と福祉を 「根拠を示して説明しよう (睡眠時間)」「紛争地の看護師」
- 4 質の高い教育をみんなに 「エルサルバドルの少女 ヘスース」
- 5 ジェンダー平等を実現しよう 「わたしを束ねないで」
- 6 安全な水とトイレを世界中に 「幻の魚は生きていた (水の生態系の保護・回復)」
- 8 働きがいも経済成長も 「多様な方法で情報を集めよう (職業体験)」
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」
- 10 人や国の不平等をなくそう 「握手」「作られた『物語』を超えて」「故郷」「温かいスープ」
- 11 住み続けられるまちづくりを 「メディアの特徴を生かして情報を集めよう (防災)」「立場を尊重して話し合おう (ボランティア)」「合意形成に向けて話し合おう (地域交流)」
- 12 つくる責任 つかう責任 「『不便』の価値を見つめ直す」「モアイは語る—地球の未来」「説得力のある構成を考えよう (プラスチックごみと海洋汚染)」
- 13 気候変動に具体的な対策を 「学習を振り返ろう 流水と私たちの暮らし」「クマゼミ増加の原因を探る」「リオの伝説のスピーチ (地球温暖化)」
- 14 海の豊かさを守ろう 「説得力のある構成を考えよう (プラスチックごみと海洋汚染)」
- 15 陸の豊かさを守ろう 「クマゼミ増加の原因を探る」「モアイは語る—地球の未来」「作られた『物語』を超えて」
- 16 平和と公正をすべての人に 「大人になれなかった弟たちに……」「字のない葉書」「握手」「作られた『物語』を超えて」「挨拶—原爆の写真によせて」「エルサルバドルの少女 ヘスース」「紛争地の看護師」「温かいスープ」「二つの悲しみ」
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう 「報道文を比較して読もう (五輪ボランティア)」「合意形成に向けて話し合おう (合意形成の方法)」「誰かの代わりに」「紛争地の看護師」

- ・話題・題材は農山漁村・都市など地域的な偏りを避けるとともに、国際的視野が育つように、バランスのとれた構成になっている。
- ・次のような教材によって、地域や地域の文化に対して関心を高め、理解を深め、愛着や誇りをもつとともに、その特色や文化を尊重する態度を養えるよう配慮している。
『郷土ゆかりの作家・作品』(2年 p.292)、『おくのほそ道』俳句地図』(3年 p.156) など。

[4] 体裁に関する配慮

学ぶ意欲や楽しさを
喚起することや、
使用上の便利さについての
配慮は適切に行われているか。

ここからサイトを
ご覧いただけます。



1 巻頭資料や巻末付録など

- ・巻頭・巻末や教材中の挿絵や写真、図・グラフなどは、目的に応じて効果的に活用できるよう、主たる学習材として文章と合わせて読み取るもの、文章の理解を助ける資料的なもの、イメージを豊かに広げるもの、内容を効果的に解説するものなどを設けている。
- ・学習を主体的に、また、補充的・発展的に扱えるよう、教材に関連した資料を領域別に「学習を広げる」(1年 p.263、2年 p.259、3年 p.231) にまとめている。
- ・巻末に「学習のための用語一覧」を設け、学習用語の検索を容易にするとともに、「文学的(説明的)な文章を読むために」(「学習を広げる」冒頭)では、学習事項の意識化・定着化を図っている。

2 QR コードによるデジタル資料の提示







- ・生徒の主体的な学びに資するよう、教科書連動コンテンツ「広がる学び 深まる学び」を設定し、動画など、学習の参考となる資料を収録している。教科書の随所に記載されているQRコードを読み取ることで、教科書の内容に連動したコンテンツを閲覧できる。(1年 p.28・129・148・158、2年 p.29・55・65、3年 p.115・126・150など) ※教科書にはインターネットアクセスや通信料などに関する利用上の留意点を明記。

文字提出・表記・表現は
正確を期し、配慮しているか。

- ・漢字教材や新出漢字欄では、手書き文字に近い自社開発の教科書体を使用している。「読むこと」教材の新出漢字は、全ての音訓を示したうえで本文で提出した語を振り仮名付きで示すことで、読みの負担を軽減するとともに、漢字を他の場面で活用し、定着できるように工夫している。
- ・教材中で注意する語句についても、欄外に「意味を調べる意」「短文を作る文」「関連語句関」など、その語句の何に着目して学習すればよいのかをひと目でわかるよう工夫している。
- ・1・2年に「【練習】小学校六年生で学習した漢字」を設け、確実に習得できるよう配慮している。
- ・1教材における漢字の提出数を制限し、過重負担にならないよう配慮している。また、付録に「常用漢字表・付表」や「〇年生で学習した漢字」を設け、音訓・用例・筆順が一覧できるようにしている。
- ・表記・表現の基準は全学年にわたって統一し、適切な表記が身につくよう配慮している。

<p>文字の書体・大きさ、文字組などは適切か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本文には、教科書のために特にデザインした光村明朝体を用いている。美しく読みやすいだけでなく、画数や点画の形などは手書き文字と齟齬のないよう配慮しており、生徒の学習負担を軽減できる。 漢字の読み仮名や読書案内などの小さな文字は、ユニバーサルデザインの観点から見やすさ・読みやすさを追究して作られたUDフォント（UD FONT）を用いて視認性を高めている。 字詰め・行詰めは、生徒の発達段階や可読性を考慮し、読みやすくデザインしている。
<p>表紙・製本・印刷などは適切か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 表紙は、堅牢で豊かな風合いのある用紙を用い、現代性あふれる新鮮なデザインにより、生徒の情意面に強く働きかけ、国語の学習に親しみをもたせるよう工夫している。 印刷は鮮明で読みやすく、特に、色覚特性に対応するため、配色や色調にも配慮している。 環境に負荷の少ない用紙や、エコマーク認定の植物油インキを用いている。

[5] 特別支援教育や、小学校・高等学校との連携に関する配慮

<p>特別支援教育への配慮はされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザイン、カラーユニバーサルデザインの観点から、全ページにわたり専門家の校閲を受けた。 生徒自身が、見通しをもって学習に臨めるよう、「読むこと」の「学習（手びき）」及び「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材は、いずれも目標、学習過程、振り返りという流れを見開きで一覧できる構成とした。思考の手順や活動の流れを順序立てて見通せるよう工夫している。（1年 p.28・34・54 など） 領域を識別できるよう、教材冒頭や目次、中扉にマークを付した（「 話すこと・聞くこと」「 書くこと」「 読むこと」「 情報」「 読書」）。また、資質・能力のポイントを示す「 学習の窓」は他と明確に区別できるよう上下に罫を付すなど配慮している。（1年 p.2・21・22・28・30・34・60・82 など） 色覚特性に配慮し、図表は色に頼ることなく、線の種類や濃淡、地紋でも識別できること、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは用いないことを基本に作成している。また、色を問う活動を設定しない、説明の際は色以外の情報も合わせて示すなどの配慮をしている。（1年 p.143、2年 p.43 など）
<p>小学校・高等学校との連携に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中学校への円滑な接続を図り、明るくスタートできるよう、1年の第1教材に入る前に、「言葉に出会うために」（1年 p.12）を設けた。小学校で学んだ基礎・基本をいつでも確認できるようにしている。 3年には、論説や古典など、高校への橋渡しになる教材を位置づけている。（3年 p.124・126・163・166 など）

3

育成を旨とする資質・能力の内容と特色

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成においては、それぞれを相互に関連させつつ、資質・能力として一体的に育成できるよう、教材化及び年間の教材配列を工夫している。

[1] 知識及び技能

<p>(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項</p>	<p>1 言葉の学習（言葉の働き、話し言葉と書き言葉、文や文章、言葉遣い、表現の技法）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の第3系列は、言葉をテーマに教材を構成した（1年「言葉に立ち止まる」、2年「言葉と向き合う」、3年「言葉とともに」）。多様な切り口から言葉に向き合い、考えられる場として設定している。 各学期には生活場面をきっかけに言葉の法則性に気づく「文法への扉」を、巻末には文法を系統的に学ぶ「文法」を設けた。文法の確実な理解と定着を旨とし、主体的に日常に生かせるよう工夫した。また、2・3年には既習事項を確認する場を設け、系統的に知識を習得できるよう配慮している。 表現技法、敬語など、日常の言語生活に資する知識を扱う小教材「言葉」を年間2～3か所に設けた。 <p>2 漢字の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しみながら漢字の知識を身につけ、日常生活や社会生活に生かしていけるよう、漢字に関する知識を焦点化して学ぶ小教材「漢字」を年間3か所に設けている。 漢字を習得し、書き慣れる場として、「漢字に親しもう」を新設。既習漢字を使った短作文や、「自然」「芸術」などのテーマで関連語句を書く課題など、漢字の習得が語彙力向上にも資するよう工夫している。 1・2年の巻末には「【練習】小学校六年生で学習した漢字」と「小学校六年生で学習した漢字一覽」（書写との関連で手書き文字を提示）を設け、小学校漢字が確実に習得できるよう配慮している。 <p>3 語彙を豊かにするために</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教材を通して常に言葉に着目し、語句を増やし、語感を磨き、日常生活に生かせるよう配慮している。 語句を増やし語感を磨くことで、思考や表現を支え、相手や目的に応じた適切な言葉を選べるようにするために、語彙の系列「言葉を集めよう／比べよう／選ぼう」を設定した。（1・2年 p.80、3年 p.76） 「学習（手びき）」に「言葉を広げる」を設け、文章を読み深めるための語句の課題を示した。また、「学習の窓」では学習用語を取り上げ、学びや思考を支える用語を使用語彙にできるよう配慮している。 巻末資料「語彙を豊かに」では、心情や様子、行為、抽象概念を表す語句や、思考や表現に役立つ語型・文型を一覧で示し、生徒が主体的に活用できるようにしている。（1年 p.300、2年 p.296、3年 p.284）
---------------------------------	--

(2) 情報の扱い方に関する事項

- ・新設された「情報の扱い方」について、見開きで解説するコンパクトな教材を設けた。「**思考のレッスン**」では「情報と情報との関係」、「**情報整理のレッスン**」では「情報の整理」について、図や例を用いて明快に説明している。情報と情報との関係を踏まえて論理的整合性を検証したり、情報を可視化して整理したりする体験を通して、実践的に知識・技能を習得できるよう配慮している。
- ・3領域の学習の中で、習得した「情報の扱い方」に関する知識・技能を活用できる場を随所に設けた。習得と活用を繰り返すことで理解を深め、「**生きて働く知識・技能**」として定着できるよう工夫している。
- ・当該学年で学習した「情報の扱い方」を、「思考力、判断力、表現力等」の各領域や他教科の学習、日常生活でも主体的に活用できるよう、巻頭に「**思考の地図**」を設けた。
- ・情報を適切に読み取り、その信頼性を見極める力を養うとともに、習得した知識・技能を社会生活に活用できるよう、各学年に「**情報社会を生きる**」を設けた。
 - ▶学校図書館を活用した情報の集め方や図表の読み方（1年 p.60）、メディアリテラシー（2年 p.60）、実用文や報道文に含まれる情報の信頼性の確かめ方（3年 p.62）などを系統立てて習得できる。
 - ▶引用のしかたや著作権、情報モラルなど基礎的な知識についても意識を高める工夫をしている。

(3) 我が国の言語文化に関する事項

1 伝統的な言語文化（伝統的な言語文化・言葉の由来や変化）

- ・1年の古典導入として「**古典の世界**」を新設。3年間で学習する古典を見通し、学習意欲を高めるとともに、その学びが現代にどのように生きていくかを考えられるように配慮している。
- ・古典の読みの負担を軽減し、美しい韻律を味わえるよう、**QRコード**で**朗読音声**を聞くことができる。
- ・各学年4か所に設けた「**季節のしおり**」では、季節の風物を描いた詩歌や名文の一節を紹介し、日本人の季節に対する感性に触れたり、暦の言葉や季語の語感を楽しんだりできるよう工夫している。
- ・3年の「**古典名句・名言集**」では、高等学校で学習する古文・漢文を紹介し、円滑な接続を図った。
- ・各学年の中扉と後見返しに「**言葉を味わう**」を設け、美しい日本の風景とともに、時の移ろい（1年や色彩（2年）、季節（3年）を繊細に捉えた伝統的な言葉を紹介している。

2 読書

- ・「読書」が「知識及び技能」に位置づけられたことに伴い、全領域にわたる学習活動を通して読書の価値を実感し、生涯にわたる読書習慣を確立できるような教材化を工夫した。
- ・特設教材「**読書生活を豊かに**」「**読書に親しむ**」では、多様な分野へ読み広げるきっかけとなる作品・文章、読書活動、読書案内、コラムを位置づけ、読書への意欲を喚起するよう工夫している。
 - ▶読み比べの素材となる文章は、複数の作品の一部を抜粋して採録し、続きは本で読むよう促すなど、**教科書で完結することなく読書にいざなう工夫**をしている。また、変化する時代を意識し、**ウェブサイトを読む**活動（2年 p.188）や、翻訳の読み比べ（2年 p.84）など、新しい読書の在り方を提案している。
 - ▶①本を紹介する、②感想を共有する、③読書生活をデザインする、という3系列の活動を、3年間にわたり、系統的かつ段階的に配置している。人との交流を通して読書の幅を広げ、読書生活を俯瞰したり展望したりすることで、主体的・継続的に読書に取り組んでいく方法を示している。
 - ▶読書案内「本の世界を広げよう」では、表紙付きのブックリストを内容紹介とともに掲載している。
- ・文学・説明文だけでなく、古典や伝統芸能、「話すこと・聞くこと」にも「**広がる読書**」を設け、関連図書を紹介している。「**本の世界を広げよう**」も合わせると、紹介した図書は、412冊に上る。
- ・紹介する図書は、人権教育の観点からも吟味し、価値あるものを厳選している。
- ・学習・情報センターとしての**図書館**の具体的な活用方法を提示し、利用推進に努めている。（1年 p.60）

ここからサイトを
ご覧になれます。

例：1年 p.158
「竹取物語」冒頭
朗読音声



[2] 思考力、判断力、表現力等

A. 話すこと・聞くこと

- ・**対話・質問**、スピーチ、プレゼンテーション、討論、合意形成の話し合いなど、社会生活や他教科の**学習の基盤となる**多様な**言語活動**を、相手や目的に応じて柔軟かつ主体的に行えるよう工夫している。
- ・**現代的な諸課題**への意識を高め、**カリキュラム・マネジメント**にもつながるよう、日常生活・社会生活や他教科に関連する話題を設定し、必然性をもって話したり聞いたり話し合ったりできる場面を設定した。
- ・「**主体的・対話的で深い学び**」に資するよう、相手の話を能動的に引き出す「**対話・質問**」の系列を設けた。
- ・最初の見開きで、目標から振り返りに至る**学習活動全体を見通す**ことができる。**学習過程**を明示し、その教材で重点的に学習すべき箇所を強調することで、生徒自身が見通しをもち、その学習で身につける資質・能力を意識して、主体的に自己調整しながら学習できるよう配慮している。
- ・教材冒頭には、これまでに身につけた資質・能力を「**生かす**」場を、末尾には習得した力を日常生活や学校生活、将来に「**つなぐ**」ための具体例を設け、当該学習で育む資質・能力は、「**学習の窓**」で簡潔に解説している。「点」の学びが、過去から現在、未来につながる「線」の学びになるよう工夫している。
- ・聞き取りや話し合いの過程で、**思考ツール**や**図表**を用いて**情報を視覚化**し、**整理**しながら**共有**する方法を具体的に示している。「情報の扱い方」に関する知識・技能を、必然性をもって活用できる。
- ・話すことのプロであるスピーチコンサルタントやコピーライターが、話し方を伝授する「**達人からの一言**」を新設。学びが将来に役立つことを実感し、**キャリア教育**にもつながるよう配慮している。
- ・全ての本教材に**QRコード**を付し、スピーチや話し合いの様子を**動画**で見られるよう工夫している。

ここからサイトを
ご覧になれます。

例：1年 p.148
グループ・ディスカッション
活動動画



B. 書くこと

- 説明、レポート、案内文、手紙やメールなど、社会生活や他教科の**学習の基盤となる多様な言語活動**を、相手や目的に応じて柔軟かつ主体的に行えるよう工夫している。
- 現代的な諸課題**への意識を高め、**カリキュラム・マネジメント**にもつながるよう、日常生活・社会生活や他教科に関連するテーマを設定し、必然性をもって書くことに臨める場面を設定した。
- 最初の見開きで、目標から振り返りに至る**学習活動全体を見通す**ことができる。**学習過程**を明示し、その教材で重点的に学習すべき箇所を強調することで、生徒自身が見通しをもち、その学習で身につける資質・能力を意識して、主体的に自己調整しながら学習できるよう配慮している。
- 教材冒頭には、これまでに身につけた資質・能力を**「生かす」**場を、末尾には習得した力を日常生活や学校生活、将来に**「つなぐ」**ための具体例を設け、当該学習で育む資質・能力は、**「学習の窓」**で簡潔に解説している。「点」の学びが、過去から現在、未来につながる**「線」**の学びになるよう工夫している。
- 情報を整理したり構成を考えたりする過程で、**思考ツール**や**図表**を用いて**情報を視覚化し、整理**する方法を具体的に示している。「情報の扱い方」に関する知識・技能を、必然性をもって活用できる。
- 書くことのプロである小説家やエッセイストが、書き方を伝授する**「達人からのひと言」**を新設。学びが将来に役立つことを実感し、キャリア教育にもつながるよう配慮している。
- その文種でよく使われる表現や文型を**「使う言葉」**に示し、生徒の理解を助けている。

C. 読むこと

1 「学習」(手びき)の構成/「読むこと」共通

- 学習の見通しをもつために、「学習」(手びき)の冒頭に**「学習活動」(言語活動)**と**「目標」**を明示し、**学習過程**に即して**「1 捉える」**(構造と内容の把握)、**「2 読み深める」**(精査・解釈)、**「3 考えをもつ」**(考えの形成、共有)の3段階に構造化して課題を示した。**学習過程**を見通し、**主体的**に学習に取り組めるよう配慮するとともに、個→集団→個で**対話的**に自分の考えを確立し、根拠を明確にして意見を述べられるように工夫している。(1年 p.28・50, 2年 p.24・50, 3年 p.24・48など)
- 「学習の窓」**では、年間で身につける**読みの力を一覧**できるようにしたうえで、当該教材で学習する汎用的な資質・能力を**図解**などでわかりやすく解説している。また、**「学習で用いる言葉」**を取り上げて解説し、学習や思考を支える用語が生徒の使用語彙になるよう配慮している。
- 学習したことを社会生活や他教科の学習に役立てられるよう、「学習」(手びき)の末尾に、**「振り返る」**を設けた。どんな力がついたか見えにくいと言われる国語科において、獲得した資質・能力を明確に自覚できるよう、言語化したり、他の場面に転移したりする課題を設定している。
- 巻末「学習を広げる」の冒頭に、基礎的・基本的な読みの方略をまとめた**「文学的(説明的)な文章を読むために」**を設けた。各教材の「学習の窓」や「学習用語」に示された内容が、領域全体で学習する資質・能力の中で整理して示されている。汎用的な資質・能力の全体像を見渡し、国語だけでなく日常生活や読書でも活用できるように工夫している。
- 教材紙面に適宜**QRコード**を付し、文章の内容に関連する資料動画や、作者・筆者へのインタビューを収録している。生徒の知的好奇心を喚起し、教材内容への理解に資するよう配慮している。

2 文学的文章

- 文学的文章の選定にあたっては、生命や人間を尊重する精神を養うことを根底に置き、幅広い分野から、**普遍的な題材**と**現代的な題材**を偏りなく選んでいる。
- 表現や言葉のリズムの快さを感じ、音読・朗読や鑑賞を通して我が国の言語文化について理解し、継承・発展させる態度を育成できる作品、読むことの意義を体得できるよう、美しく力強い文体を備えた近代以降の価値ある作品などを取り入れるとともに、さまざまな国や民族の心に触れ、国際性を養う作品を取り入れている。
- 生徒の現実に寄り添った作品を提案するため、現代を代表する作家の書きおろしを実現した。
- 教材の構成にあたっては、**「どのような資質・能力をつけるための教材なのかを明確」**に示し、中学校3年間を通しての**「発達段階や系統性を考慮」**し、効果的に配列している。

3 説明的文章

- 説明的文章の選定にあたっては、人間と自然の尊重を基本とし、変化する時代の諸相に目を向け、**視野**を広げたり、**多角的なもの**の見方・考え方を養ったりできるように、生物、社会、言語、情報、環境、哲学など、幅広い分野に取材した**多彩なテーマ**を取り上げている。
- 学習指導要領で求められている、**文章と図表**などを結び付けて解釈する力や、文章や情報を**「比較する」「批判的に読む」「評価する」といった力を効果的に養えるよう**、教材化や教材構成を工夫している。文章を正確に読み取ることはもちろん、比較や討論といった言語活動を通して、**論理的な思考力を養い、自分の考えを確立**できるように配慮している。
- 教材の構成にあたっては、**「どのような資質・能力をつけるための教材なのかを明確」**に示し、中学校3年間を通しての**「発達段階や系統性を考慮」**し、効果的に配列している。

ここからサイトを
ご覧になれます。

例：1年「シンシユン」
作者 西加奈子さん
インタビュー動画



3 領域共通

- 各学年の最後に、1年間で習得した資質・能力を生かして3領域の問題に取り組む**「学習を振り返ろう」**を設けた。身につけた力を自覚し、他教科や日常生活に生かしていけるよう配慮した。